

福島県議会議員

佐藤 よしのり

平成29年2月 県議会 定例会

県政報告 第3号

所属/農林水産委員会



- 神明通りアーケード整備 実現に向け県単独予算獲得!!
- 農林水産副委員長に就任
- 地元要望に対する成果報告



去る3月17日に閉会した福島県議会2月定例会において、農林水産委員会の副委員長に選任され、さらに昨年3月、9月に引き続き三度目となる一般質問に立つ機会を得ました。

この間、福島県の復興、会津地域が抱える課題に取り組み、地元のご要望などに対していくつかの成果もあげております。日頃の活動の中から、皆さまへのご報告としまして県政報告資料をお届けいたします。

これからも、ご期待に応えられるよう努力してまいります。

神明通り商店街のアーケード整備について

かねてより課題となっておりました神明通り商店街のアーケード整備について、地域の要請を受け昨年より活動を行ってきた成果として、ご報告いたします。

これまで、県が取り扱う事業支援の予算では、商店街が行うハード整備への補助メニューがありませんでした。

しかしながら、国からの支援が得られない事態とアーケードが撤去されたままの現状に、担当部署へ働きかけを行うとともに自民党県議団の渡辺義信政調会長に神明通り視察の機会を設けるなど、県が支援することへの理解を得るべく各方面に動き、場を醸成して参りました。

今回、「神明通りアーケード整備」を目的とした予算ではないものの、これまで支援の対象とならなかったハード事業が、商店街活性化のためのソフト事業と一体的に整備することを条件に、事業計画が採択されれば補助が受けられるよう新年度予算を確保しました。

今後は、神明通り商店街振興組合と会津若松市が示す整備計画に基づき、事業採択にむけて推進を図って参ります。



2月定例会での主な質問

○観光振興策 戊辰150周年

戊辰戦争150周年を契機とした外国人観光客の誘客について質問したところ、戊辰戦争の歴史的価値を世界に発信する広告動画を作成し、武士に興味のある外国人に向けて配信するほか、県内外の戊辰戦争ゆかりの地をつないだストーリー性のあるモデルコースを作成し、旅行商品の造成を働き掛けるなど、戦略的な誘客のための**予算を新年度で計上する**との答弁を得ました。

○会津の人口減少対策 工業団地整備

質問に臨むにあたり、得意な数学を活かして2040年までの浜・中・会津それぞれの将来推計人口を算出しました。

そのデータを根拠に、若年層の流出が多く生産年齢人口が最も落ち込む会津地域への「県による中核的工業団地の整備」が如何に重要であるかを説き、客観的かつ論理的に質問を展開しながら**事業の必要性を強く印象付ける**ことができました。

当面すぐに結論が得られる事案ではないため、引き続き整備の実現に向けて活動して参ります。

○その他の質問

- ◆ 均衡ある県土の発展について
- ◆ 中山間地域の光ファイバ網整備について
- ◆ 猪苗代湖の水環境対策について
- ◆ 農業用ため池の防災対策について
- ◆ 県職員の消防団加入促進について
- ◆ 情報セキュリティ対策について
- ◆ 子どもの貧困対策について
- ◆ 会津学鳳中学校・高等学校における中高一貫教育の成果について
- ◆ 会津若松熱塩温泉自転車道線の整備について

ご要望のあった案件に お応えしました!!

- ✓ 本町通り商店街 歩道舗装整備
 - ✓ 国道118号(大戸地区)通学路整備
 - ✓ 県管理道路(緑町付近)での自動二輪車迷惑行為対策
 - ✓ 国道118号開通区間(神指地区)の安全対策
 - ✓ 国道121号(高野地区)暗きよ整備予算獲得等々
- このほか、北会津・河東地区から頂いたご要望にも現在対応しております。

その他の活動報告



2月定例会の期間中、福島大学のインターン生を受け入れ、政治活動の現場や県議会の取組を勉強してもらいました。

昨年の参院選から、選挙権が18歳以上に引き下げられ、教育の現場では既に主権者教育も始まっています。

若者の政治への関心が高まりつつあるなか、社会勉強を希望する学生を積極的に受け入れてまいります。

次回6月定例会は、6月20日(火)に開会予定です。

連絡先 佐藤よしのり事務所

〒965-0042 福島県会津若松市大町二丁目9-4

TEL 0242-36-7015
FAX 0242-36-7016

福島県 佐藤よしのり 検索



HP



TW



FB



自民党 県会報告 第181号

2月県議会 定例会

会期 2月14日(火)～
3月17日(金)

自民党議員会主導で 「小規模企業振興基本条例」実現!

2月定例会は、2月14日から3月17日までの日程で開会され、復興・創生期間2年目の平成29年度一般会計当初予算などについて審議いたしました。

自民党議員会が主体となり、昨年10月に検討会を設置し、11回にわたる会合で検討を重ねた結果、小規模企業を支援するための施策を盛り込んだ、「福島県中小企業・小規模企業振興基本条例」の改正案を提出し、知事提出議案や意見書など153件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、追加代表質問1名、一般質問7名が登壇し、「新生ふくしま」実現のため、復興の土台を固める取組や、ふくしまならではの地方創生を推進するための、県の施策についていただきました。

平成29年度予算の主な内容については以下の通りです。

平成29年度一般会計当初予算 1兆7,183億73百万円
そのうち復興・創生費用 8,750億39百万円

【主な内容】

- チャレンジふくしま農林水産物販売力強化事業 (21億5,278万円)
- 第三者認証GAP取得等促進事業 (3億2,488万円)
- 県民健康調査事業 (48億7,498万円)
- ふたば医療センター(仮称)整備事業 (23億6,043万円)
- 小高統合高等学校設備整備事業 (1億666万円)
- 福島インバウンド復興対策事業 (6億9,463万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書

- JR只見線の早期全線復旧を強く求める意見書
- 放射線リスクの情報提供の徹底と放射線教育の拡充を強く求める意見書

代表質問(平成29年2月21日)



自民党議員会を代表して、吉田栄光議員(双葉郡選出)が登壇し、代表質問を行いました。

Q 県民の誇りをいかに取り戻し、福島未来をどのように創造していくのか

A 内堀知事

復興に向けた取組を着実に進めるとともに、福島ならではの強みをいかした攻めの取組を展開し、挑戦県「福島」、可能性の地「福島」を強く発信し、福島の奇跡という新しい歴史を創り上げる。

Q ふくしま復興再生道路である県道原町川俣線の八木沢トンネルの進捗と見通しは

A 土木部長

昨年3月に貫通し、現在トンネルの壁面工事を進めており、舗装、照明工事に着手した。綿密な工程管理を行い、来年7月の「相馬野馬追」前の開通を目指す。

Q 中小企業・小規模企業の振興への取組は

A 内堀知事

小規模企業向けの制度資金の拡充など、企業活動の土台固めの取組を進めるとともに、成長産業への地元企業の参入促進など、攻めの取組を積極的に推進する。

Q 県立高等学校入学者選抜制度をどのように見直すのか

A 教育長

従来のⅠ期選抜とⅡ期選抜を一度に行う、前期選抜を設け、志願者全員に学力検査を課すことにより、中学校での学習時間を十分に確保し、学力向上が図れるよう見直す。この前期選抜は、小論文や実技等の検査結果を中心に判定する特色選抜と、学力検査を中心に判定する一般選抜を設ける。

自民党議員会の活動

政務調査部会の開催

自民党議員会の政務調査会には6つの部会(総務・企画環境・福祉公安・商労文教・農林水産・土木)があり、各定例会ごとに調査部会を定期的開催し、地域の政策課題や県民から提出される請願・意見書等について議論しております。

2月定例会では、平成29年度当初予算などについて、県執行部と協議をし、予算成立に向け取り組みました。

また、2月定例会より佐藤義憲議員が、農林水産委員会副委員長・農林水産部会副部会長に就任しました。



▲合同部会(2月21日)



▲農林水産部会(2月27日)

広報委員会の開催

自民党議員会では、毎定例会ごとに広報委員会を開催し、県会報告と年2回発行している県議会ニュースの紙面や、県内各地で行っている、街頭広報活動について、議論しております。

今後も、分かりやすい紙面へと工夫を重ねながら、県政の今を県民の皆様にお伝えしてまいります。(広報委員一同)



▲2月定例会での広報委員会



▲新年広報活動(1月10日)

自民党議員会は今後も福島県の復興を着実に加速させるべく、県、各省庁、党本部へ働きかけるなど、最善の努力をしてまいります。